

■ 村山実氏の遺品寄贈を記念した夏季特別展(7/21～10/4) ■

「関西大学野球部 1915→2025」を開催

～ 関西大学博物館／創部期から金丸夢斗まで関大野球部の歩みをたどる ～

このたび関西大学博物館では、本学体育会野球部 OB であり、阪神タイガースの投手・監督として活躍した村山実氏（1936～1998 年）のご遺族から、ユニホームやキャップなど約 20 点の遺品をご寄贈いただいたこと、ならびに野球部創部 110 周年を記念し、夏季特別展「関西大学野球部 1915→2025」を開催します。

本件の ポイント

- ・OB の名投手・村山実氏のご遺族から寄贈されたユニホームなど貴重な資料を展示
- ・関西大学野球部創部 110 年の節目に、栄光の歴史と OB 選手たちの活躍を振り返る
- ・会期中(～10 月 4 日)は、現役プロ野球選手に関する資料も展示

関大野球部は大正時代に創部。1931 年に関西六大学連盟を結成し、翌年には六大学リーグで初優勝しました。1956 年には村山実投手を擁して第 5 回全日本大学野球選手権大会で初の全国制覇を果たしました。その後も関西学生リーグでは 40 回の優勝を果たし、多くの名選手を輩出しています。

今回の特別展では、村山氏のご遺族から寄贈されたゆかりの品々を中心に展示。阪神タイガース時代のユニホームをはじめ、一般には見られない貴重な資料を紹介します。

村山氏は 1959 年に商学部を卒業。大学野球では関西六大学リーグの最優秀選手に 2 度選ばれ、卒業後は大阪タイガース（現・阪神タイガース）に入団。「ザトペック投法」と称される全力投球で人気を集め、1962 年にはエースとしてチームをリーグ優勝に導き、最高殊勲選手に選出されました。先月逝去された読売ジャイアンツ・長嶋茂雄氏との名勝負も、多くのファンの記憶に残っています。

また本展では、創部当初の貴重な写真や歴代の優勝盾・トロフィーを通じて、関大野球部の 110 年におよぶ歩みを振り返るとともに、村山氏をはじめとする OB のプロ野球選手たち（元阪急：山口高志氏、元阪神：岩田稔氏、オリックス：野口智哉選手、中日：金丸夢斗選手ほか）の活躍も取り上げます。



■ 夏季特別展「関西大学野球部 1915→2025」概要

- 【会 期】2025 年 7 月 21 日（月・祝）～10 月 4 日（土）
- 【会 場】関西大学博物館 特別展示室（千里山キャンパス内）
- 【時 間】10 時～16 時（最終入館 15 時半） 【入場料】無料
- 【休館日】土曜日（7 月 26 日、8 月 2 日、9 月 27 日、10 月 4 日は開館）。
日曜日（8 月 3 日は開館）。
8 月 11～22 日、9 月 15 日

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：伊地知、小林、明原

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35

Tel.06-6368-1937 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp